



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月27日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200
 四半期報告書提出予定日 2022年2月2日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年3月21日～2021年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	28,413	3.3	3,370	5.6	3,303	5.0	2,223	10.2
2021年3月期第3四半期	27,497	△5.2	3,190	△6.5	3,146	△9.0	2,016	△12.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,078百万円 (△8.5%) 2021年3月期第3四半期 2,270百万円 (△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	129.37	—
2021年3月期第3四半期	117.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	60,646	47,493	77.5
2021年3月期	58,785	46,208	77.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 47,012百万円 2021年3月期 45,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2022年3月期	—	25.00	—		
2022年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,932	2.4	3,484	△16.7	3,416	△17.1	2,312	△18.2	134.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	25,607,086株	2021年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	8,415,493株	2021年3月期	8,426,790株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	17,185,687株	2021年3月期3Q	17,173,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により断続的に緊急事態宣言等が発出され、経済活動の抑制などの影響がありました。秋季には感染状況にも改善傾向が見られ、企業収益や設備投資、個人消費には持ち直しの動きが見られたものの、足元では感染力の強い変異株により急速に感染が拡大しており予断を許さない状況が続いております。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、新設住宅着工戸数は前年に比べ持家や貸家を中心に増加傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、社内外での新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止に努め、関係者皆さまの健康・安全の確保を優先する行動を心がけてまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、新設住宅着工戸数の大幅な落ち込みの影響を受けた前年に比べ、持ち直しの動きが見られたことなどから、売上高は28,413百万円と前年同四半期に比べ915百万円(3.3%)の増収となりました。利益につきましては、増収効果等により、営業利益は3,370百万円と前年同四半期に比べ180百万円(5.6%)の増益、経常利益は3,303百万円と前年同四半期に比べ156百万円(5.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,223百万円と前年同四半期に比べ206百万円(10.2%)の増益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、硬質ビニル電線管「J管」とその附属品等が増加したことに加え、地中埋設管「ミラレックスF」と施工性に優れた附属品が増加したことや耐候性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキMF」等が堅調に推移したことにより、電線管類及び附属品が増加しました。管材では、給水給湯リフォーム用配管モジュール「RMモジュール」とその附属品等が増加しました。その結果、売上高が21,693百万円と前年同四半期に比べ857百万円(4.1%)の増収となりました。営業利益は増収効果等により、2,914百万円と前年同四半期に比べ216百万円(8.0%)の増益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートでの本格的な回復には至っていないものの、ハウスメーカーに持ち直しの動きが見られたこと等により、売上高が4,639百万円と前年同四半期に比べ121百万円(2.7%)の増収となりました。営業利益は人件費や減価償却費の増加等により360百万円と前年同四半期に比べ97百万円(21.2%)の減益となりました。

(その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が減少した結果、売上高が2,079百万円と前年同四半期に比べ63百万円(3.0%)の減収となりました。営業利益は575百万円と前年同四半期に比べ32百万円(5.3%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,860百万円増加し、60,646百万円となりました。その主な要因は、内部留保の積み増しにより現金及び預金が1,651百万円増加、売上高の季節的変動要因により電子記録債権が318百万円増加、有価証券の増加などにより流動資産のその他が615百万円増加した一方で、有形固定資産が504百万円減少、投資有価証券が212百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて575百万円増加し、13,152百万円となりました。その主な要因は、売上高の増加に伴う仕入高の増加により支払手形及び買掛金が465百万円、電子記録債務が258百万円増加、短期借入金が139百万円増加した一方で、法人税等の納付により未払法人税等が344百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,284百万円増加し、47,493百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1,422百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額が173百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月27日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,064	20,715
受取手形及び売掛金	7,907	7,899
電子記録債権	3,023	3,342
商品及び製品	3,783	3,858
原材料及び貯蔵品	1,140	1,285
その他	807	1,422
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	35,713	38,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,936	5,639
機械装置及び運搬具(純額)	3,111	2,918
土地	4,753	4,708
建設仮勘定	496	487
その他(純額)	707	745
有形固定資産合計	15,004	14,500
無形固定資産	286	191
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257	1,045
繰延税金資産	1,079	960
退職給付に係る資産	1,024	1,084
長期預金	4,000	4,000
その他	595	519
貸倒引当金	△176	△167
投資その他の資産合計	7,781	7,442
固定資産合計	23,072	22,134
資産合計	58,785	60,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,533	2,999
電子記録債務	3,399	3,657
短期借入金	65	204
1年内返済予定の長期借入金	295	216
未払法人税等	655	311
賞与引当金	—	428
その他	3,349	2,854
流動負債合計	10,297	10,672
固定負債		
長期借入金	160	147
再評価に係る繰延税金負債	64	60
株式付与引当金	949	1,026
役員退職慰労引当金	113	113
退職給付に係る負債	659	680
その他	331	451
固定負債合計	2,279	2,480
負債合計	12,577	13,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	45,124	46,546
自己株式	△15,935	△15,918
株主資本合計	45,796	47,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	95
土地再評価差額金	△591	△600
退職給付に係る調整累計額	312	281
その他の包括利益累計額合計	△9	△223
非支配株主持分	422	481
純資産合計	46,208	47,493
負債純資産合計	58,785	60,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
売上高	27,497	28,413
売上原価	16,861	17,548
売上総利益	10,636	10,864
販売費及び一般管理費		
運賃	1,748	1,768
貸倒引当金繰入額	4	△0
役員報酬	218	212
給料及び手当	2,501	2,527
賞与引当金繰入額	147	144
退職給付費用	108	82
株式付与引当金繰入額	45	44
役員退職慰労引当金繰入額	11	10
その他	2,660	2,702
販売費及び一般管理費合計	7,445	7,493
営業利益	3,190	3,370
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	30	27
保険事務手数料	4	4
作業くず売却益	8	18
その他	76	35
営業外収益合計	129	96
営業外費用		
支払利息	4	3
売上割引	133	135
その他	34	24
営業外費用合計	172	162
経常利益	3,146	3,303
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	62	—
特別利益合計	62	—
特別損失		
減損損失	76	—
固定資産圧縮損	62	—
特別損失合計	139	—
税金等調整前四半期純利益	3,069	3,303
法人税、住民税及び事業税	822	851
法人税等調整額	176	169
法人税等合計	999	1,021
四半期純利益	2,070	2,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,016	2,223

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
四半期純利益	2,070	2,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	△173
退職給付に係る調整額	12	△30
その他の包括利益合計	200	△204
四半期包括利益	2,270	2,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,216	2,019
非支配株主に係る四半期包括利益	53	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月21日 至2020年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,835	4,517	25,353	2,143	27,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	—	150	3,308	3,458
計	20,986	4,517	25,503	5,451	30,955
セグメント利益	2,697	457	3,155	607	3,763

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,155
「その他」の区分の利益	607
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△499
棚卸資産の調整額	△2
有形固定資産の調整額	△78
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,190

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月21日 至2021年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,693	4,639	26,333	2,079	28,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	—	161	2,933	3,095
計	21,855	4,639	26,495	5,013	31,508
セグメント利益	2,914	360	3,275	575	3,850

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,275
「その他」の区分の利益	575
セグメント間取引消去	15
全社費用(注)	△489
棚卸資産の調整額	0
有形固定資産の調整額	△6
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,370

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。